

キラリ Masters

in NISHI-HIROSHIMA

シニアベンチャー

高橋 直昭 さん

(株)キャッツ・ハンズ代表取締役



取材に気さくに応じる高橋さん

<プロフィール>

造園会社を退職後、人材派遣会社(株)キャッツ・ハンズ(西区中広町)を平成17年10月設立した。プライベートでは趣味の畑仕事で汗をかき、近隣住民と収穫を祝うなど地域ぐるみの「市民農園」構想も描く。昭和21年7月18日生。西区井口在住。

人材派遣で若者とシニアの就労支援

「息子と同じくらいの世代で働かない若者・ニートが増加する中、彼らの就労を支援したい。合わせて、現役を退いても働く意欲のあるシニアの再就職も手助けしたい。そんな思いから、退職後に一般労働者派遣事業と有料職業紹介事業の(株)キャッツ・ハンズを設立した。地場の総合サービス業大手・東洋観光グループの今井誠則代表らが共同出資者に名を連ね、同グループと強力なパイプを持っている。

「息子と同じくらいの始めようと考えていた。そんな折、学生時代の同級生である今井氏の要請もあって、造園も含めて幅広く就労支援ができる総合人材サービスへと話が広がった。

「単に派遣会社に名前を登録してもらうだけでなく、常用雇用労働者の比率を高めていきたい」と基本方針を掲げ、自らキャリアコンサルタントの資格を取得。「個々の適性を見極めながら、より適した働く場所を丁寧にアドバイスする」構えだ。

高橋さんは(株)広田造園(西区口妻)役員からの転身者。昨年、59歳で退職した当初、造園業界で培った経験と人脈を生かし造園工事の請負事業を

各企業を有しているから、求職者が勤務先を選択できる幅が広い。同時に、事前に就労先をイメージしてもらいやすく、いざ業務に臨んでから「こんな仕事とは思わなかった」というギャップが生じにくい。

加えて、未経験者でもグループ内の実務教育を受けられ、早期での戦力化が可能」と、同社ならではの強みで対応する。

会社役員の実績はあるが、ベンチャーとしてはスタートしたばかり。人材派遣の新社社としてPRに東奔西走しながら、「猫の手も借りたい」キャッツ・ハンズです。覚えやすいでしょう」と、笑顔を見せた。